

平成 29 年度 文部科学省委託 日本／ユネスコパートナーシップ事業

## 平成 29 年度 ユネスコスクール年次活動調査結果

## 目次

平成29年度ユネスコスクール年次活動調査 概要	1
調査の方法／回答者の背景	1
調査方法	1
回答者の背景	2
平成29年度ユネスコスクール年次活動調査 結果	4
国内及び国際的枠組みに関する認知度調査	4
国内外の学校間交流に関して	6
ユネスコスクール加盟校としての効果と課題	15
学校教育におけるESDの普及について	16

## &lt;図表目次&gt;

図 1 回答者の役職	2	図 7 SDGsの17の目標への取組	5
図 2 回答者の年齢	3	図 8 「ESD推進の手引」の活用	6
図 3 回答者のユネスコスクール/ESDに携わった期間	3	図 9 ユネスコスクールとの交流の有無(国内)	6
図 4 グローバル・アクション・プログラム(GAP)に関する認知度	4	図 10 交流した相手の学校数(国内)	6
図 5 GAPと別に国内実施計画(2015-2019)に関する認知度	4	図 11 交流の方法(国内)	7
図 6 持続可能な開発目標(SDGs)に関する認知度	4	図 12 交流しなかった場合の理由(国内)	7

図 13 ユネスコスクールとの交流予定(国内).....	7	図 24 学校全体でのユネスコスクールへの活動の取組状況.....	14
図 14 国内のユネスコスクール以外の学校との交流の有無.....	8	図 25 指導方法の工夫や改善方法.....	15
図 15 海外の学校との交流の有無.....	8	図 26 ユネスコスクールの活動に関するモニタリング・評価.....	15
図 16 交流した相手の学校数(国外).....	8	図 27 ESD の普及が進まない理由.....	16
図 17 交流の方法(国外).....	9	図 28 ESD の普及活動の発信.....	16
図 18 交流しなかった理由(国外).....	11	図 29 ESD の理念の普及活動の発信の仕方.....	16
図 19 海外ユネスコスクールとの交流経験.....	11	図 30 ユネスコスクール公式ウェブサイトの利用状況.....	17
図 20 海外の学校との交流予定.....	12	図 31 高等教育機関による活動支援現状.....	17
図 21 重視するべきと考える分野.....	13	図 32 支援・協力を受けた教育機関.....	17
図 22 連携した地域の社会教育機関、NGO 団体等.....	13		
図 23 参加した研修会の主催団体.....	14		

## 平成29年度ユネスコスクール年次活動調査 概要

平成29年度のユネスコスクール活動調査(以下「活動調査」という)は、文部科学省から委託を受け、ASPUnivNet 加盟大学とユネスコスクール事務局である公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)によって平成29年12月4日～平成30年1月10日の間に行なわれたものである。

この活動調査は、今後のユネスコスクールの活動の一層の振興に向けて、ユネスコスクールの現状、課題、成果等を把握することを目的に実施したものである。調査内容は平成29年度の学校の取組(平成29年4月～平成30年3月)を対象としている。

次頁以降の調査結果は選択回答のみ図にまとめたものである。本調査結果を踏まえた考察(調査の記述回答部分に対する示唆・考察も含む)については別冊にまとめている。なお、本報告書内の分析は、活動調査回答を用いた簡易的な記述統計から浮かび上がる論点について整理したものであり、厳密な統計分析作業を経て導かれたものではない。

## 調査の方法／回答者の背景

### 調査方法

平成29年度活動調査は、全ユネスコスクール加盟校1,034校に対してウェブ回答によって回答協力を募った。最終的には765校(回答率約74%)から回答を得ることができた。活動調査の依頼方法は、公式ウェブサイトへの掲示、メールとFAXによるお知らせ、全国大会でのチラシ配布に加え、文部科学省から教育委員会及びユネスコスクールへの事務連絡による周知である。

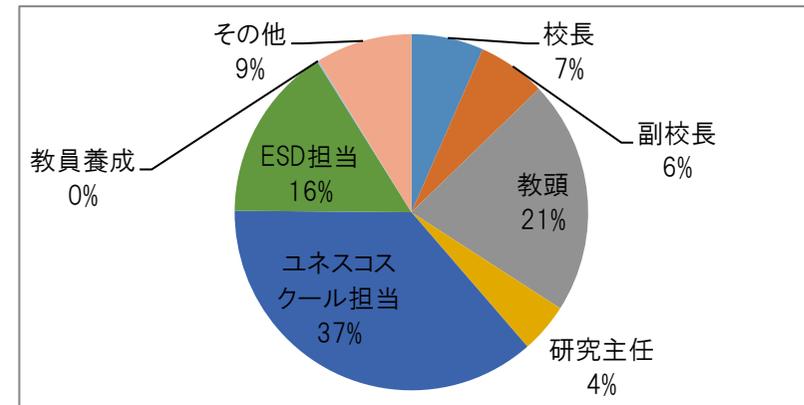
回答者の背景

表 1 学校種別回答数

	学校種別	回答校数
1	保育園・幼稚園	20
2	小学校	375
3	小中一貫教育	14
4	中学校	166
5	高等学校	119
6	中高一貫教育	50
7	教員養成	4
8	技術／職業教育	0
9	特別支援学校	7
10	その他	10
	合計	765

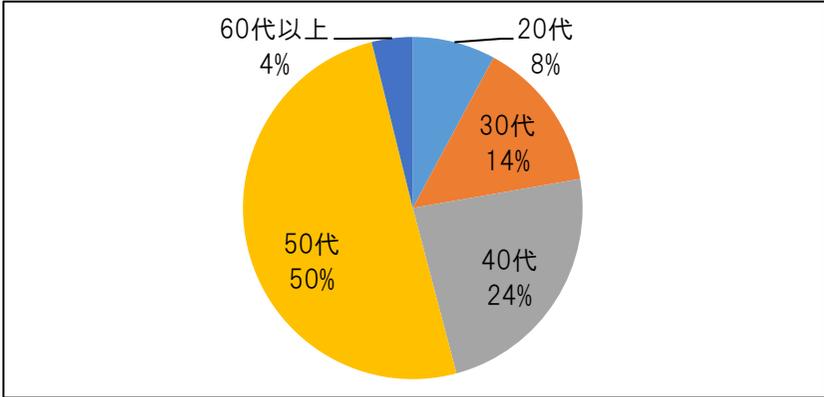
(参照:Part1 質問 2)

図 1 回答者の役職



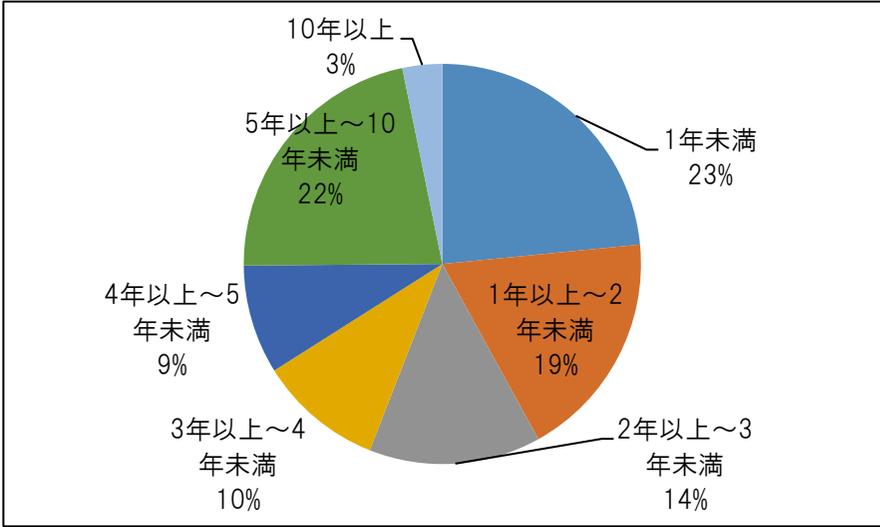
(参照:Part1 質問 3)[N=765]

図 2 回答者の年齢



(参照:Part1 質問 5)[N=765]

図 3 回答者のユネスコスクール/ESD に携わった期間

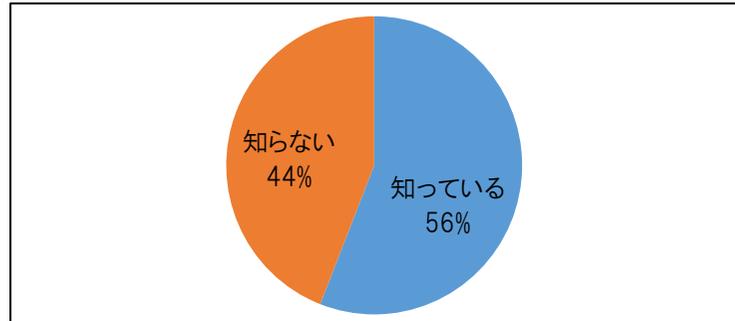


(参照:Part1 質問 6)[N=765]

平成29年度ユネスコスクール年次活動調査 結果

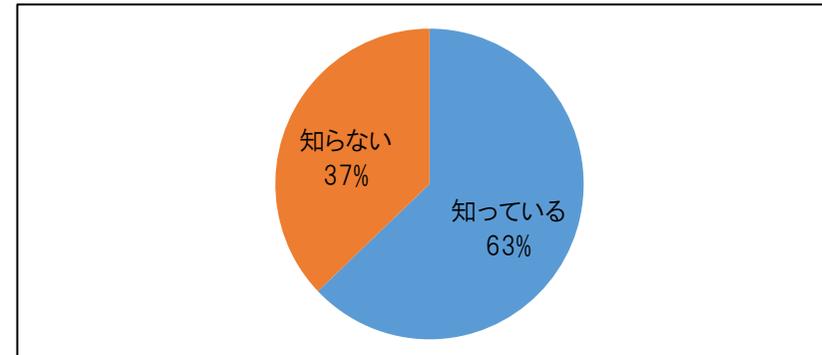
国内及び国際的枠組みに関する認知度調査

図 4 グローバル・アクション・プログラム(GAP)に関する認知度



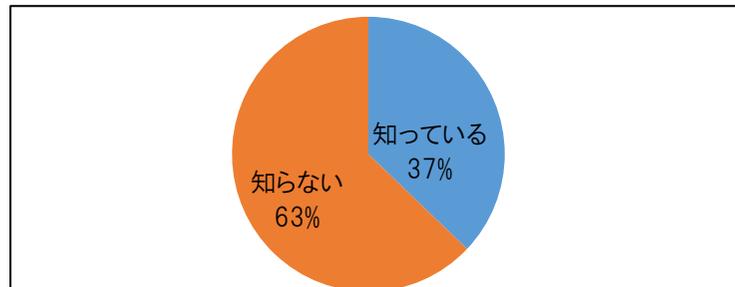
(参照:PART2質問1)(N=765)

図 6 持続可能な開発目標(SDGs)に関する認知度



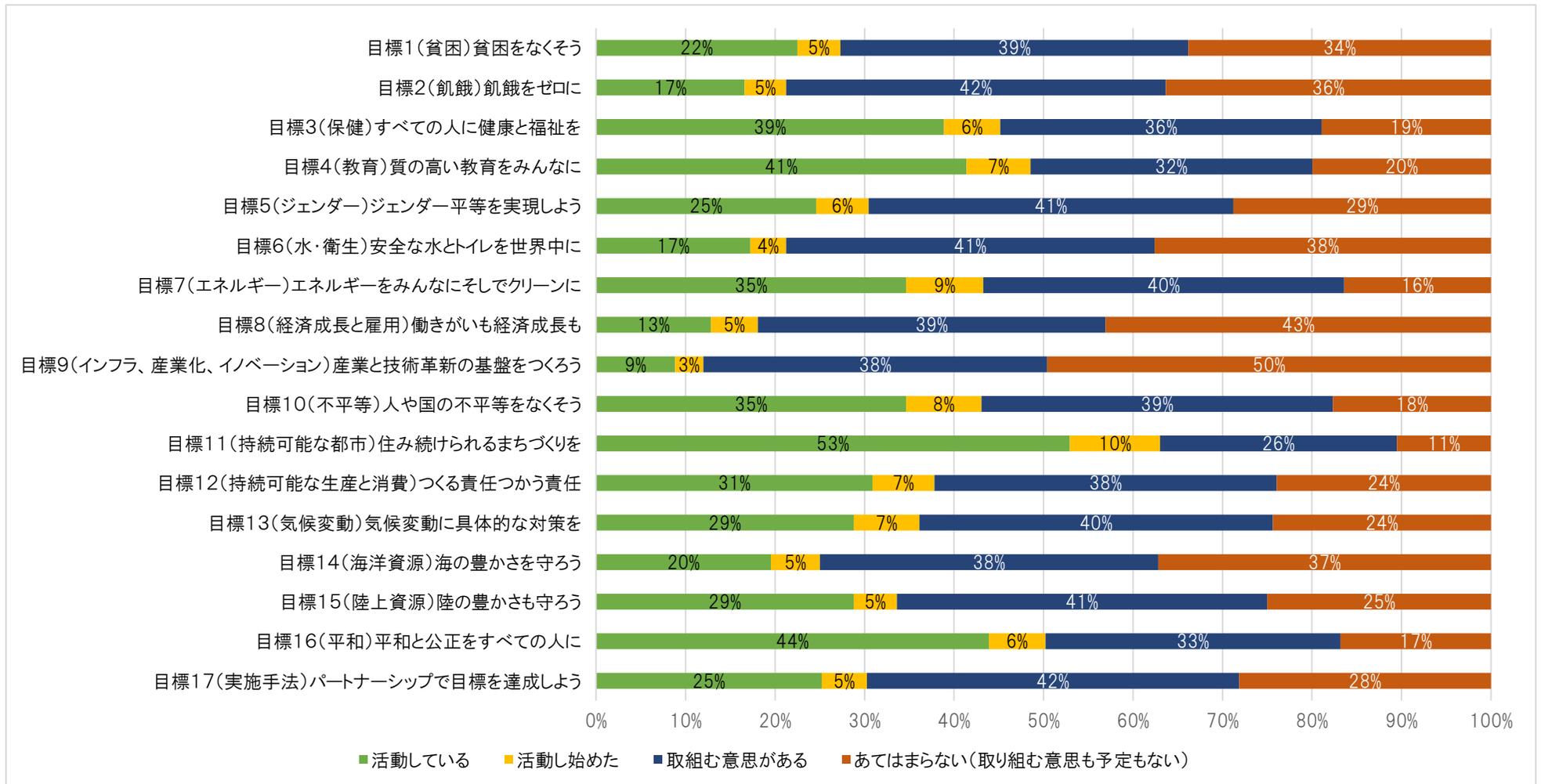
(参照:PART2質問3)(N=765)

図 5 GAPと別に国内実施計画(2015-2019)に関する認知度



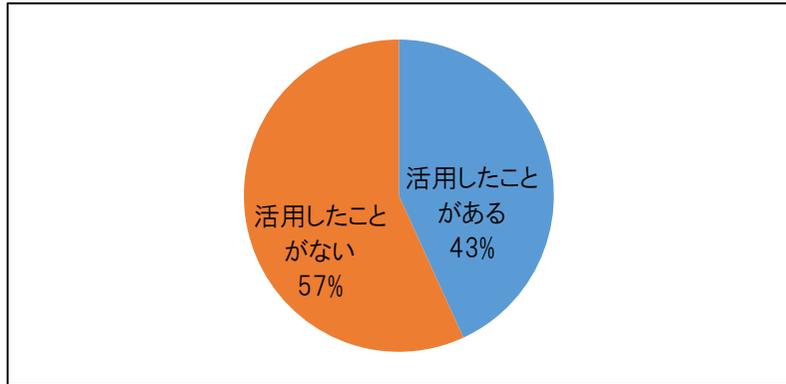
(参照:PART2質問2)(N=765)

図 7 SDGsの17の目標への取組



(参照:PART2質問4)[N=476]

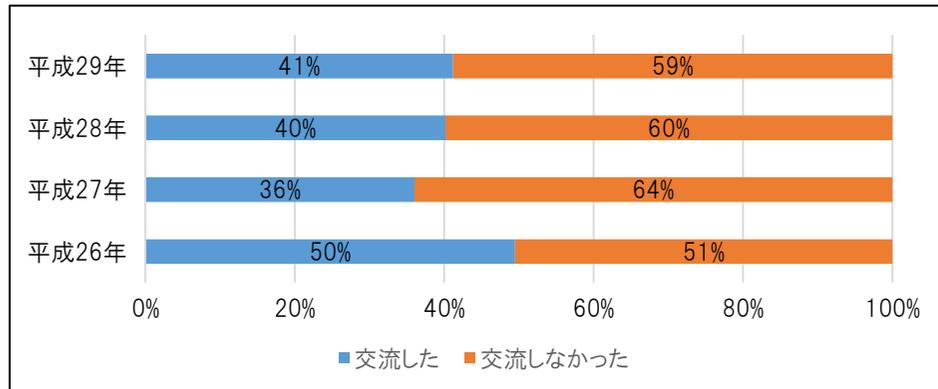
図 8 「ESD推進の手引」の活用



(参照:PART2 質問5)(N=760)

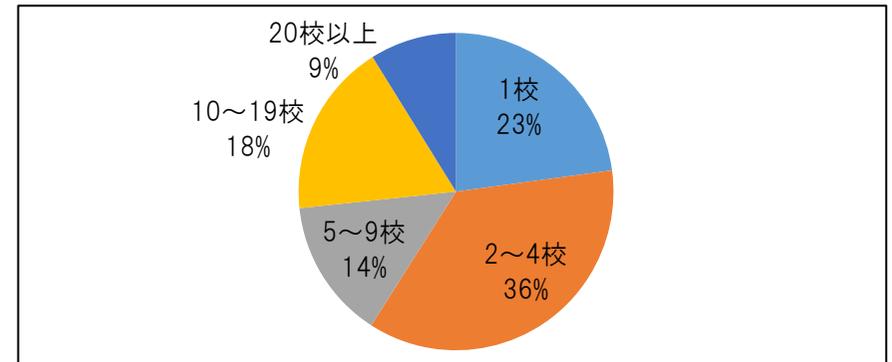
国内外の学校間交流に関して

図 9 ユネスコスクールとの交流の有無(国内)



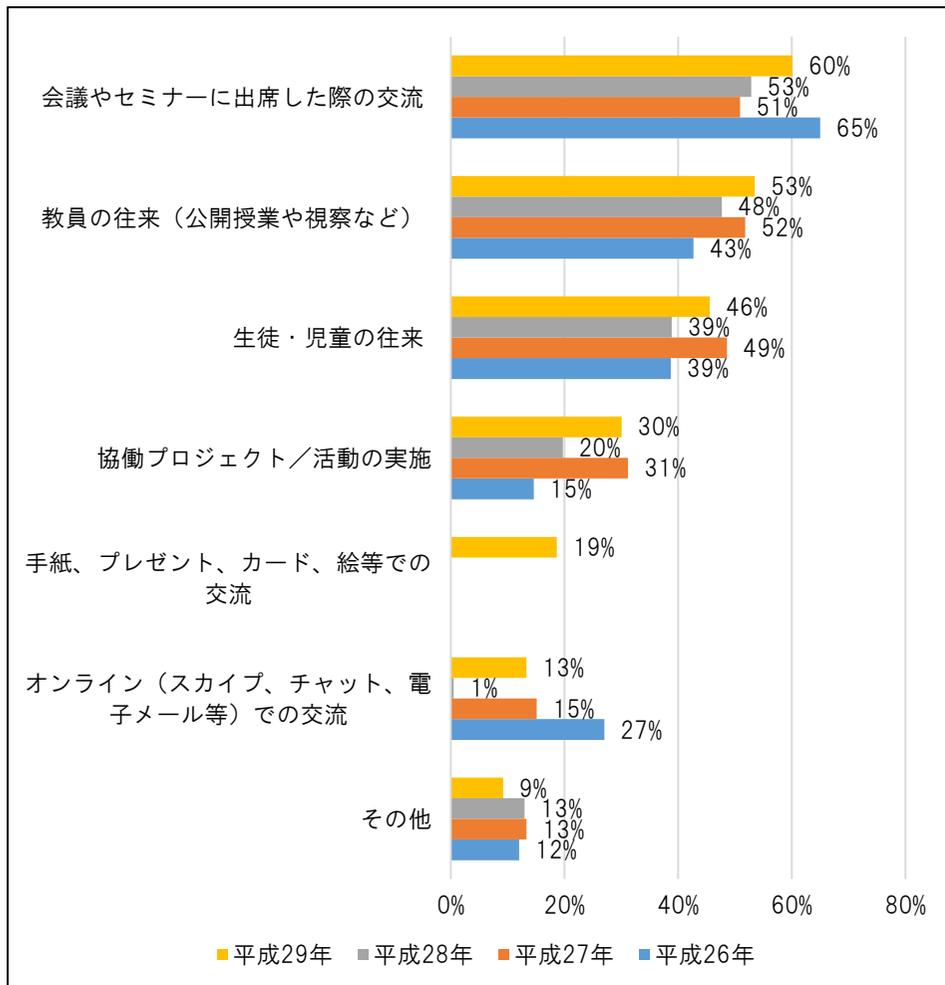
(参照:PART③質問1)(N=760)

図 10 交流した相手の学校数(国内)



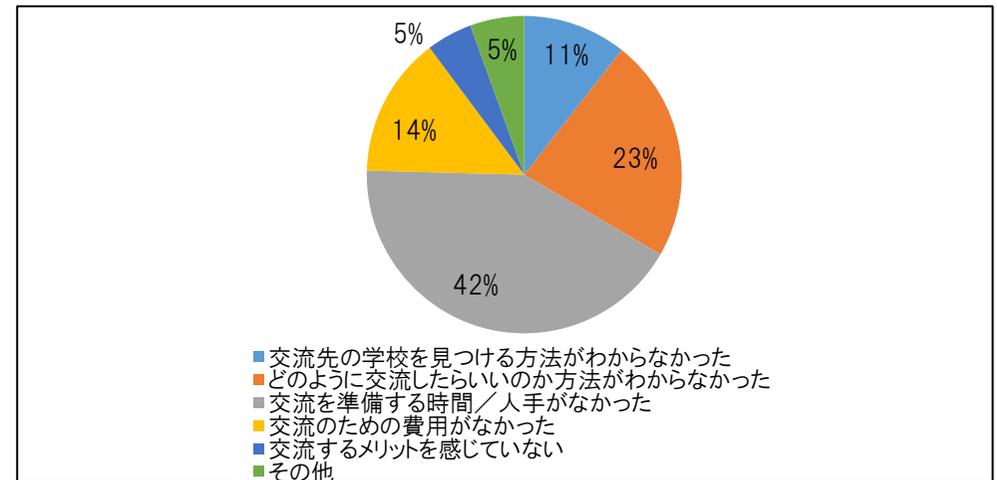
(参照 PART③質問 2)(N=315)

図 11 交流の方法(国内)



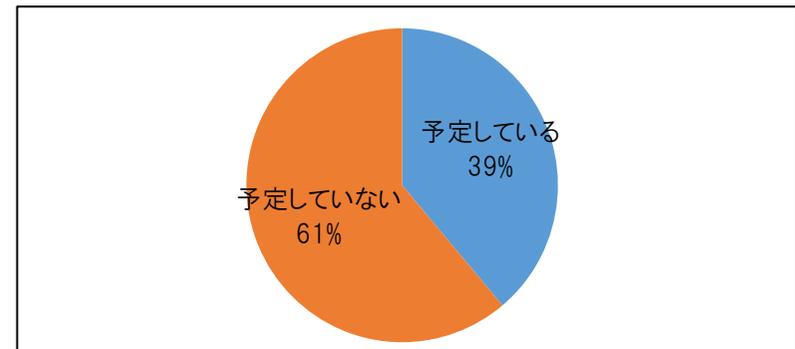
(参照:PART③質問3)[平成 28 年度:N=185,平成 29 年度:N=316]

図 12 交流しなかった場合の理由(国内)



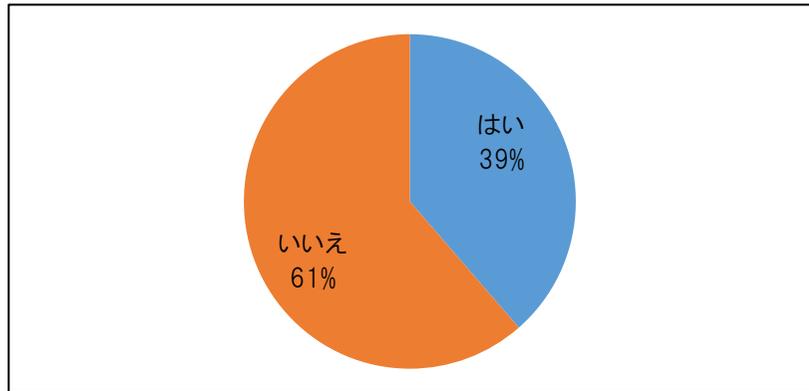
(参照:PART③質問5)[N=459]

図 13 ユネスコスクールとの交流予定(国内)



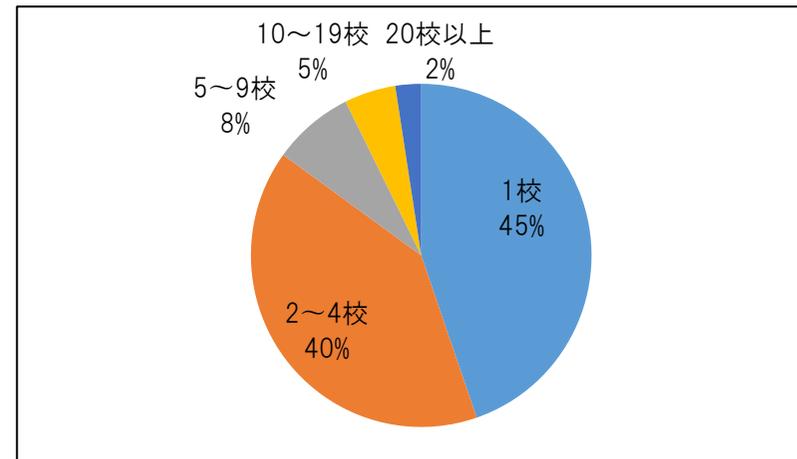
(参照:PART③質問7)[N=759]

図 14 国内のユネスコスクール以外の学校との交流の有無



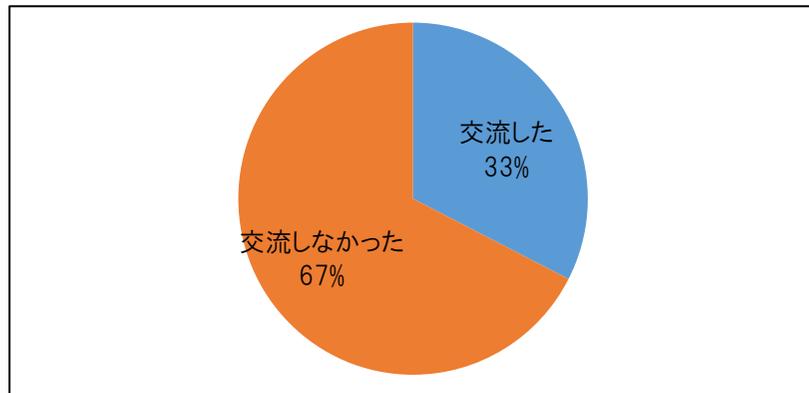
(参照:PART③質問8)(N=759)

図 16 交流した相手の学校数(国外)



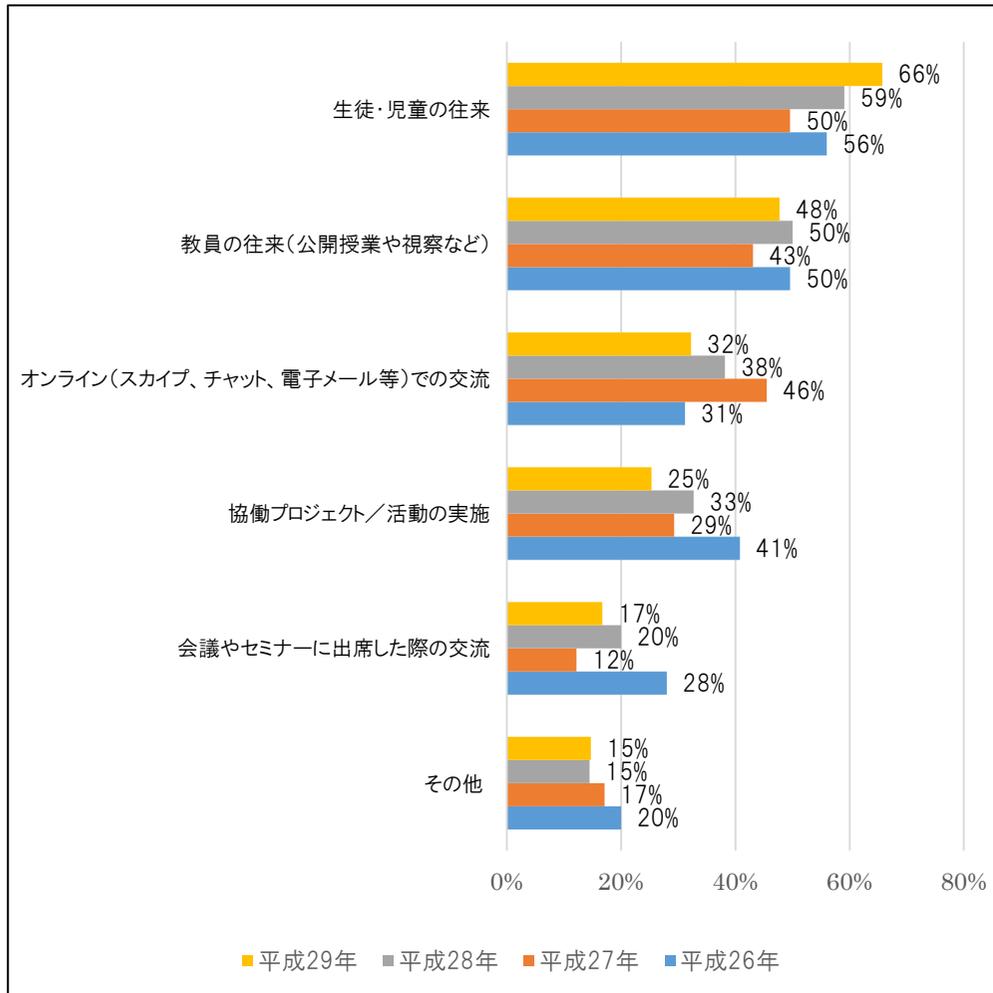
(参照:PART③質問10)(N=246)

図 15 海外の学校との交流の有無



(参照:PART③質問9)(N=759)

図 17 交流の方法(国外)



(参照:PART③質問11)[平成 28 年度:N=185,平成 29 年度:N=245]

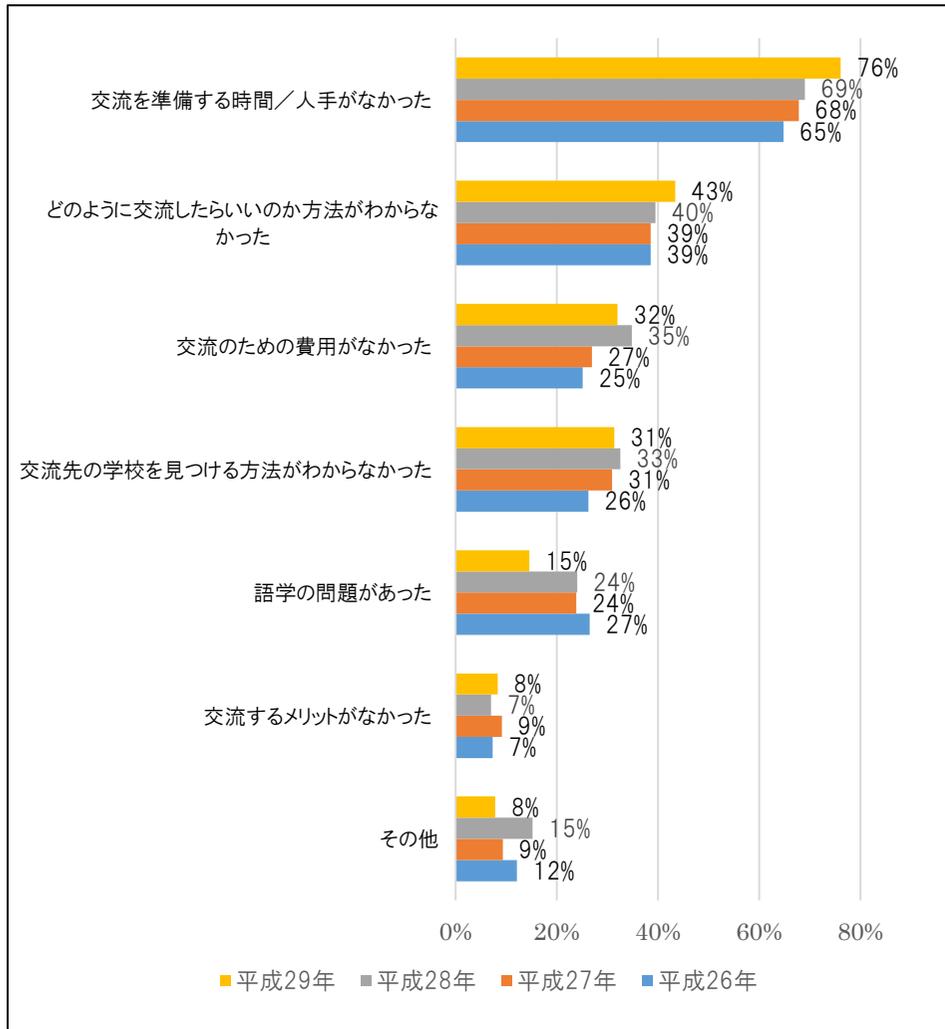
表 2 交流した学校の国、地域名

	回答校	交流国
①	72 校	米国
②	71 校	オーストラリア
③	54 校	台湾
④	46 校	韓国
⑤	34 校	中国
⑥	20 校	ニュージーランド
⑦	16 校	タイ王国
⑧	15 校	マレーシア
⑨	14 校	カナダ
⑨	13 校	フィリピン、英国、ドイツ
⑩	11 校	ベトナム、インドネシア
⑪	9 校	ブラジル
⑫	8 校	スウェーデン

⑬	7 校	シンガポール
⑭	6 校	ブルガリア
⑮	5 校	カンボジア、フランス
⑯	4 校	ネパール
⑰	3 校	デンマーク、モンゴル、イタリア、フィンランド、香港、パキスタン、ガーナ、ポーランド、リトアニア
⑱	2 校	ロシア、ボリビア、インド、ノルウェー、ベルギー、ルーマニア、スコットランド、モロッコ、エルサルバドル、ルワンダ、スペイン、トルコ、ミャンマー
⑲	1 校	フィジー、アルゼンチン、ウクライナ、エストニア、オーストリア、スイス、スロベニア、ハンガリー、南アフリカ、ラトビア、ルクセンブルク、ジンバブエ、ウガンダ、東ティモール、ケニア、カメルーン、ニカラグア、ペルー、タンザニア、ドミニカ共和国、モルディブ、ウズベキスタン、ジャマイカ、コスタリカ、バングラデシュ、チェコ、ラオス、アイルランド、モザンビーク、ブータン、ホンジュラス、ブルキナファソ、イスラエル、パプアニューギニア、アラブ首長国連邦

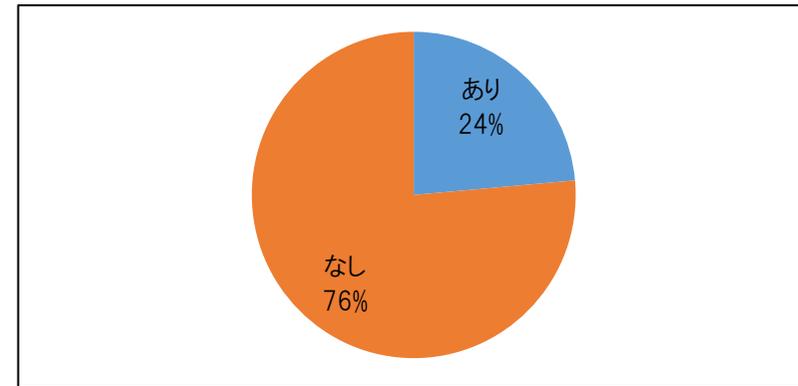
(参照:PART③質問 13)(N=238)

図 18 交流しなかった理由(国外)



(参照:PART③質問14)[平成 28 年度:N=262、平成 29 年度:N=447]

図 19 海外ユネスコスクールとの交流経験



(参照:PART③質問16)[N=246]

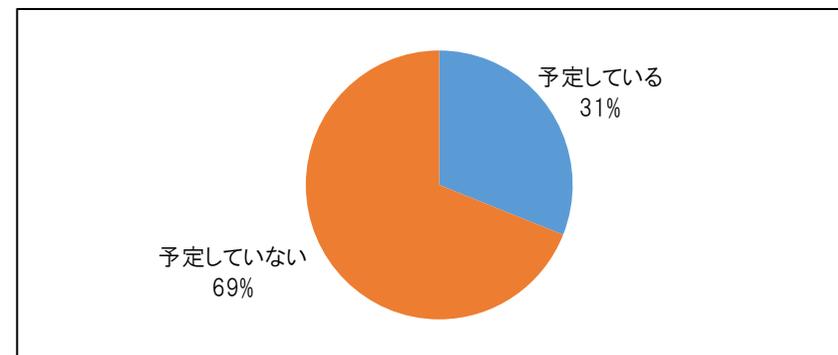
表 3 海外ユネスコスクール交流国、地域

	国名	件数
1	韓国	20
2	中国	11
3	米国	9
4	ブルガリア	5
5	タイ	4
6	台湾	4
7	オーストラリア	3
8	スウェーデン	2
9	マレーシア	2
10	ニュージーランド	2
11	ブラジル	2
12	ドイツ	2
13	フランス	2
14	インドネシア	2
15	リトアニア	1
16	フィジー	1
17	カンボジア	1
18	イタリア	1

19	デンマーク	1
20	ポーランド	1
21	ネパール	1
22	フィリピン	1
23	カナダ	1
24	パキスタン	1

(参照:PART③質問17)(N=58)

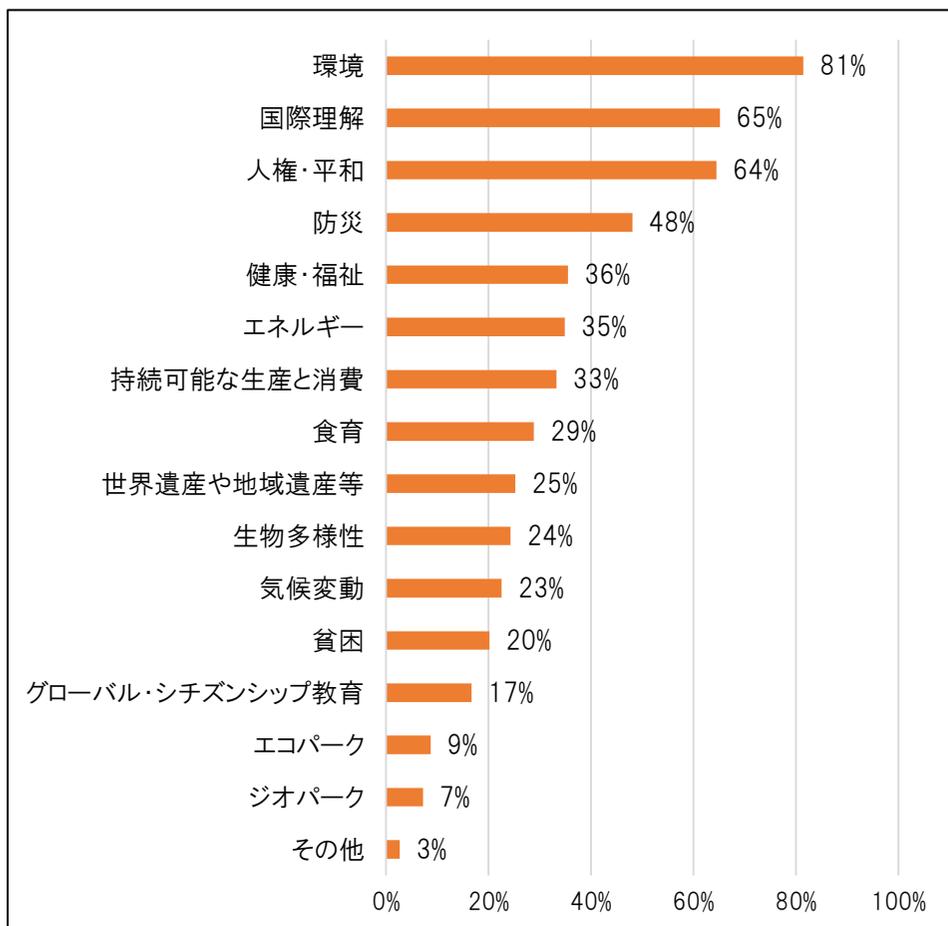
図 20 海外の学校との交流予定



(参照:PART③質問18)(N=757)

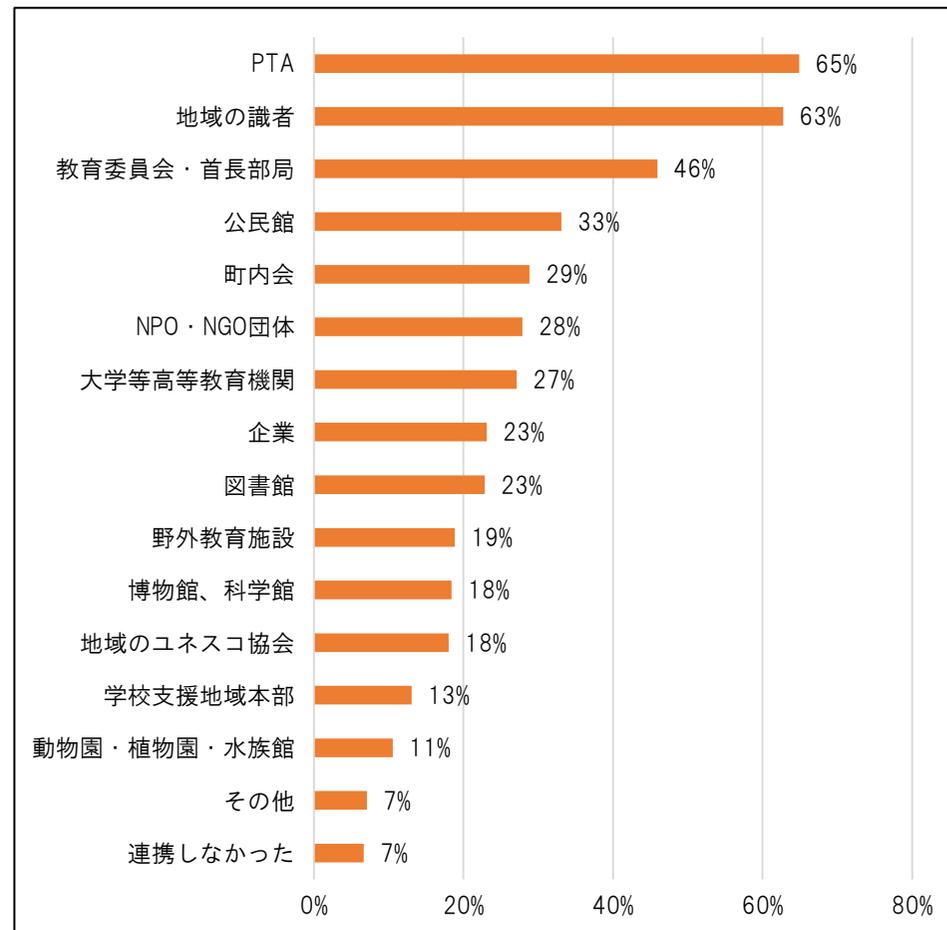
ユネスコスクールとしての取組

図 21 重視するべきと考える分野



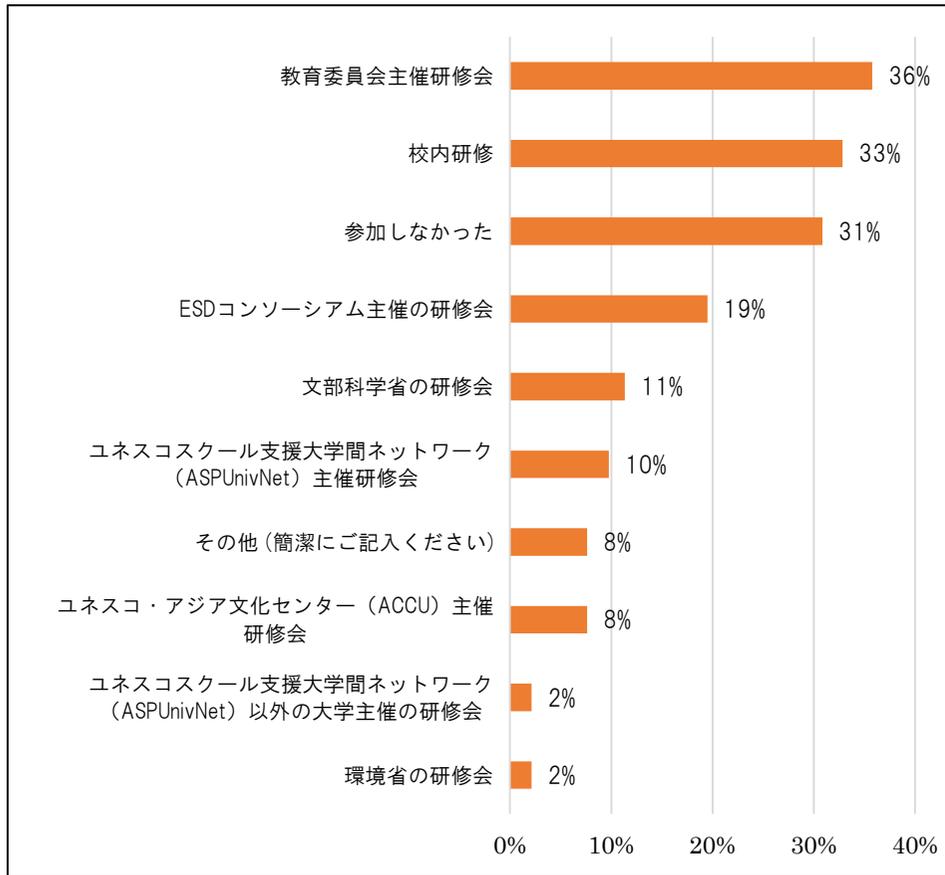
(参考:PART④質問1)[N=749]

図 22 連携した地域の社会教育機関、NGO 団体等



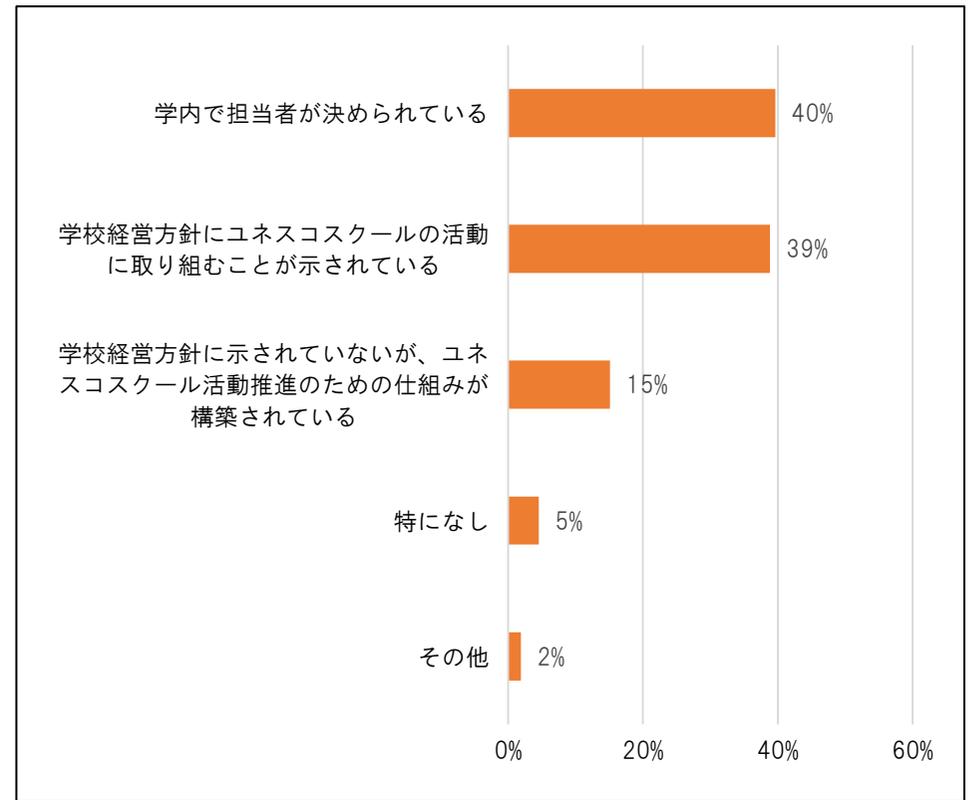
(参考:PART④質問3)[N=749]

図 23 参加した研修会の主催団体



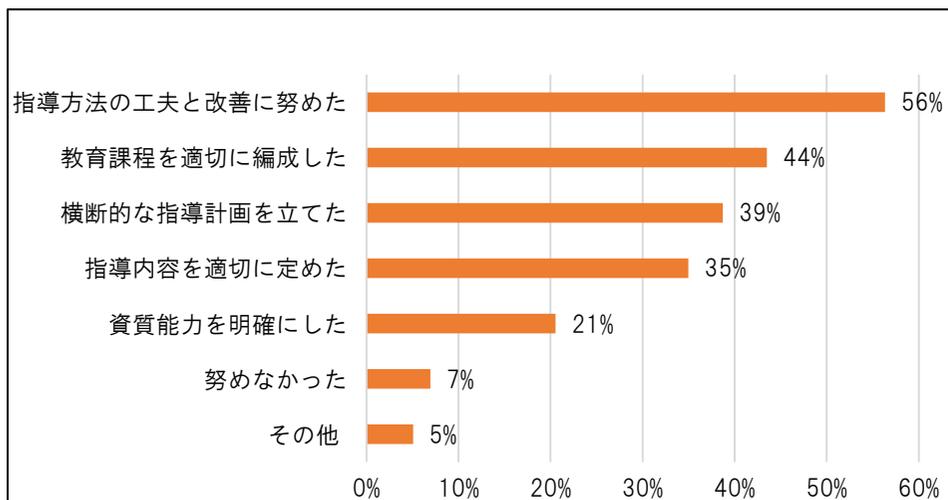
(参考:PART④質問5) [N=749]

図 24 学校全体でのユネスコスクールへの活動の取組状況



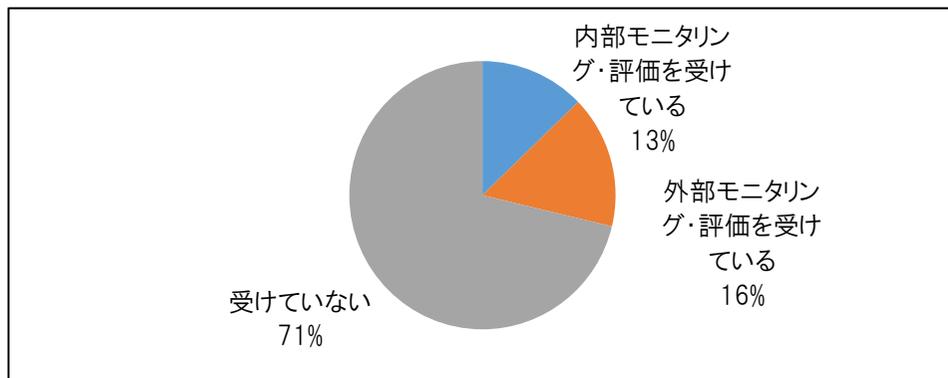
(参考:PART④質問7) [N=749]

図 25 指導方法の工夫や改善方法



(参考:PART④質問9)[N=749]

図 26 ユネスコスクールの活動に関するモニタリング・評価



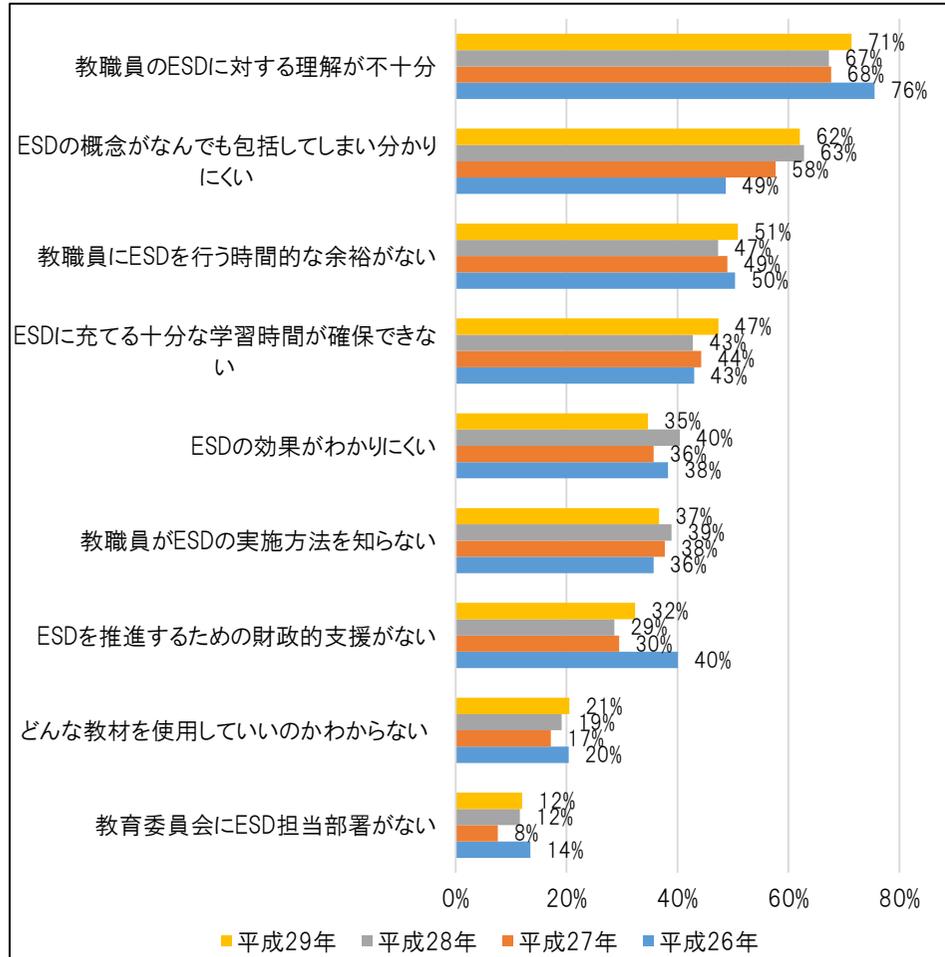
(参考:PART④質問11)[N=749]

### ユネスコスクール加盟校としての効果と課題

本節では、「児童生徒の変化」「教員の変化」「カリキュラム・教授法の変化」「ユネスコスクールとして ESD に取り組む際の課題、問題点」について取り上げる。記述回答のため、それぞれ考察のみ別冊にて記載する。

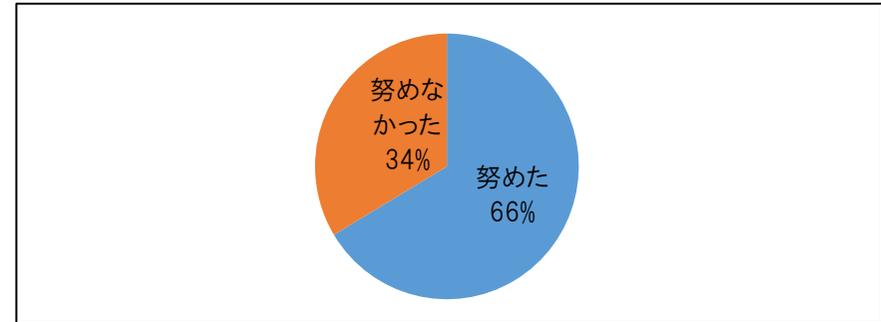
学校教育における ESD の普及について

図 27 ESD の普及が進まない理由



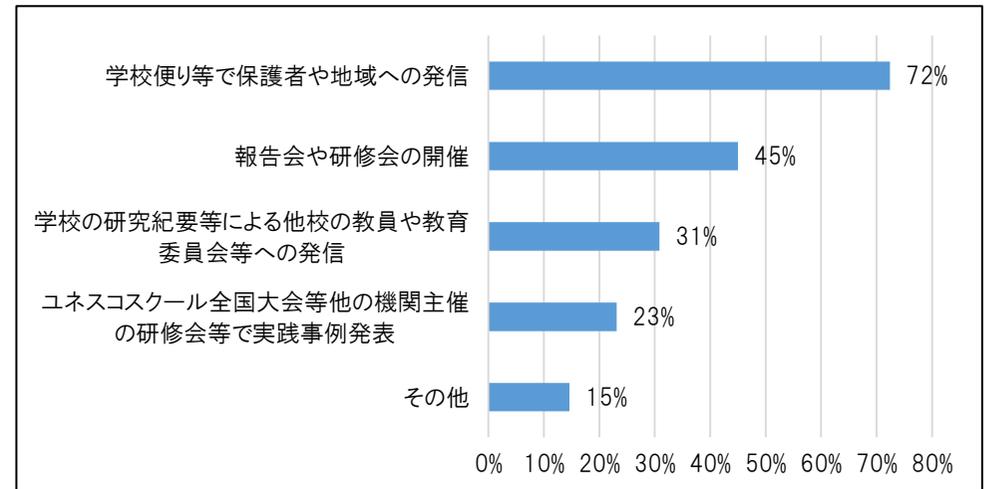
(参考:PART⑥質問1)[平成 28 年度:N=465,平成 29 年度:N=741]

図 28 ESD の普及活動の発信



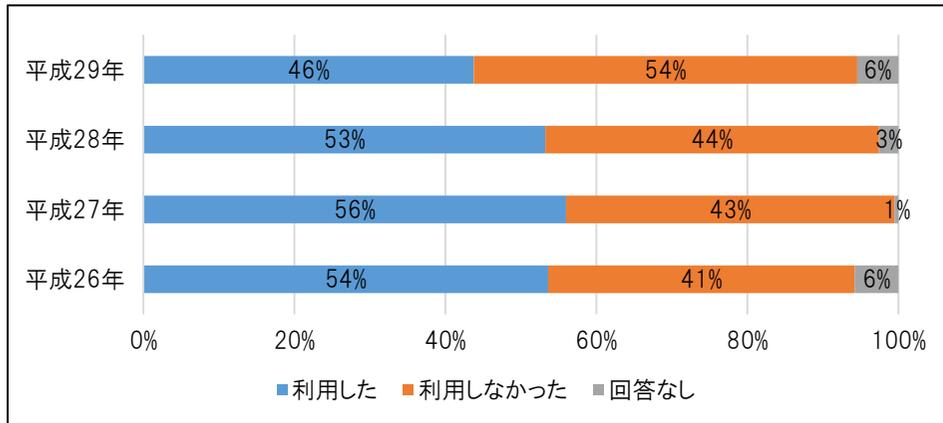
(参考:PART⑥質問3)[N=741]

図 29 ESD の理念の普及活動の発信の仕方



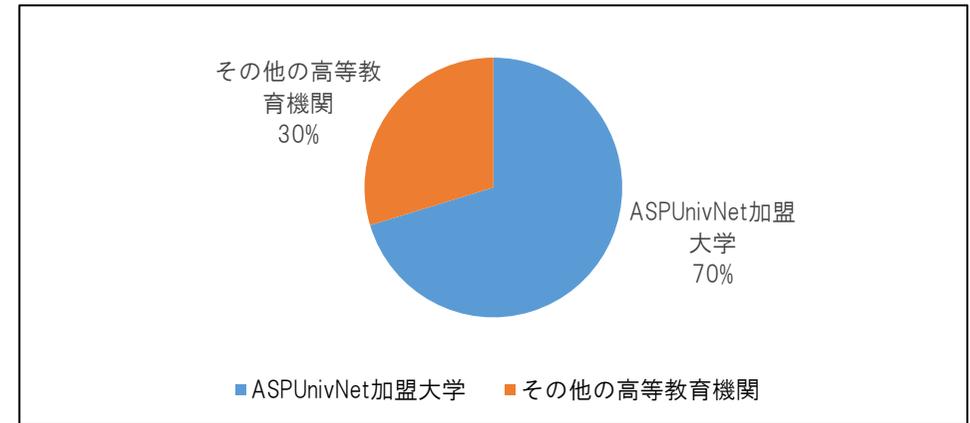
(参考:PART⑥質問4)[N=493]

図 30 ユネスコスクール公式ウェブサイトの利用状況



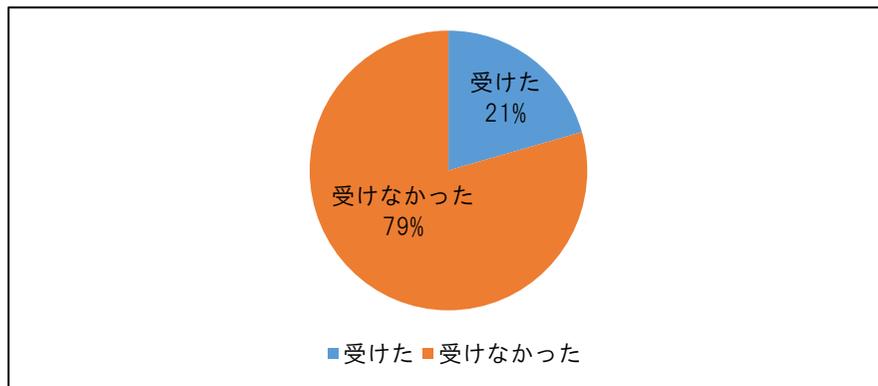
(参考:PART⑥質問 7)[平成 28 年度:N=464,平成 29 年度:N=730]

図 32 支援・協力を受けた教育機関



(参考:PART⑥質問 11)[N=153]

図 31 高等教育機関による活動支援現状



(参考:PART⑥質問 10)[N=739]

---

制作

---

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)

〒162-8484 東京都新宿区袋町 6 日本出版会館

E-mail: [webmaster@accu.or.jp](mailto:webmaster@accu.or.jp) URL: <http://www.accu.or.jp>

ユネスコスクール公式ウェブサイト: <http://www.unesco-school.mext.go.jp/>

平成 29 年度日本/ユネスコパートナーシップ事業の一環として文部科学省の委託を受けて作成しております。